

エコアクション21

2024年度 環境経営レポート



作成：2025年2月26日

活動期間：2024年1月～12月

株式会社 十辰製作所

目 次

1. 事業活動概要 … P2
2. 環境経営方針 … P3
3. 実施体制 … P4
4. 環境経営目標 … P5
5. 環境経営計画と取組の結果 … P6
6. 環境経営目標の実績と評価 … P7
7. 環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟等の有無 … P8
8. 代表者による評価・見直し … P9
9. 次年度の数値目標及び取組内容 … P10
10. 地域環境活動 … P11

1. 事業活動概要

(1) 事業者名及び代表者名

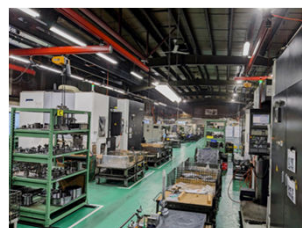
株式会社 十辰製作所

代表取締役社長 五十嵐 良治

(2) 所在地

▶ 本社 : 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13
メルヴェューサガノ303

▶ 岩手工場 : 〒028-0304 岩手県遠野市宮守町下宮守39-141-7



(3) 事業内容

精密機械部品（エンジン部品、ロボット部品、油圧機器部品、他）の加工及び付随する



(4) 事業規模

売上高 838百万円 (2024年度)

従業員数 49名 (2025年2月現在)

敷地面積 本社 2,356㎡
岩手工場 19,753㎡

床面積 本社 66㎡
岩手工場 2,970㎡

(5) 認証登録範囲

本社と岩手工場の全組織・全事業活動・全従業員を対象範囲とする。

環 境 経 営 方 針

「株式会社十辰製作所は、全社員の物心両面での幸せを追求し、全社員の成長と団結を通して、常にお客様から信頼される製品・サービスを提供し、地域と社会に貢献します。」

株式会社十辰製作所は、地球環境の保全が現在人類が共有する最重要課題の一つであることを認識し、当社の事業活動のあらゆる分野で環境保全に配慮した活動に努め、社会の持続的な発展に貢献します。

環 境 行 動 指 針

- 1 当社は、精密機械部品の製造、組立等の事業活動において、下記の事項への取り組みを通じて、環境に与える負荷の低減の継続的改善に努めます。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ①二酸化炭素排出量の削減 | ④生産効率向上によるエネルギーの削減 |
| ②水の使用量の削減 | ⑤不良品の削減 |
| ③廃棄物の分別の徹底とリサイクルの推進 | ⑥化学物質の適正管理 |

- 2 事業活動に関連する法規制等を遵守します。

- 3 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、教育・訓練を通じて社員の環境に対する意識向上を図ります。

- 4 エコアクション21ガイドラインに基づいて活動し、結果を環境経営レポートにまとめ、社内外に公開します。

制定：2010/4/26

改定：2024/1/8（改9）

株式会社 十辰製作所

五十嵐 良治



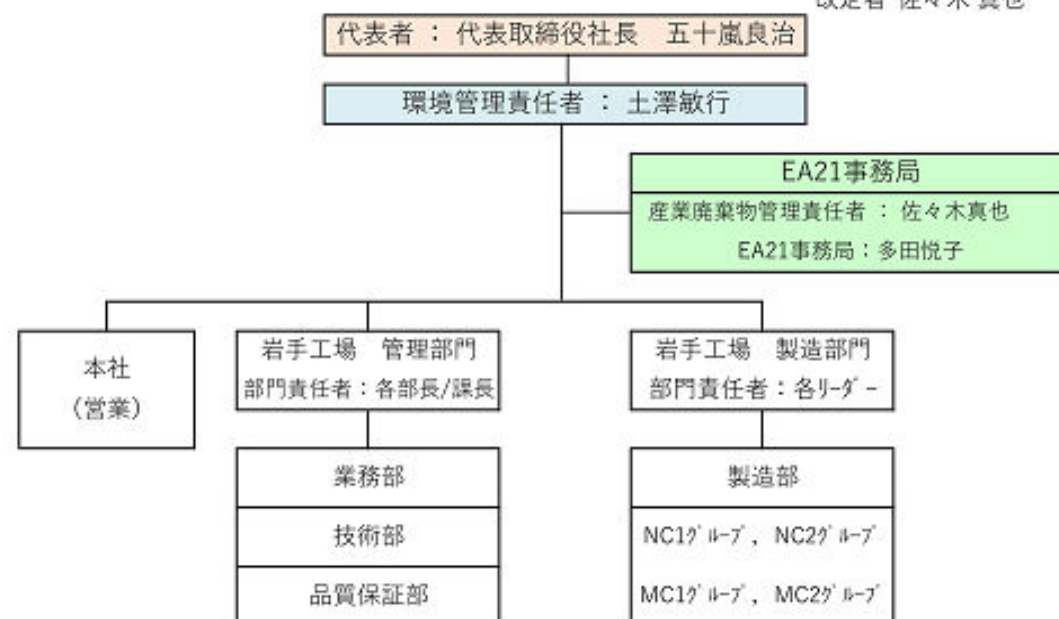
3. 実施体制

様式EA21-0301

実施体制

株式会社 十辰製作所
代表取締役社長 五十嵐 良治

制定日 平成22年4月26日
改定日 令和6年1月16日
改定者 佐々木 真也



役割と責任・権限	
役割	責任・権限
代表者	①経営における課題とチャンスを確認にする。 ②環境経営方針の策定 ③実施体制を構築する。 ④取組に対する資源を用意する。 ⑤環境管理責任者からの報告を受け全体の評価・見直しを行う。
環境管理責任者	①代表者に代わってシステムを構築し、運用する。 ②環境経営目標・取組計画を作成し、代表者の承認を受け、部門責任者に実施を指示する。 ③必要な教育訓練を計画し実施する。 ④代表者に結果を報告する。
EA21事務局	①部門からの報告を受け、文書記録類を作成する。 ②社内から出る産業廃棄物の発生抑制と適切管理/処理について監督を行う。 ③外部からの苦情等に対するコミュニケーションを取り、対応内容を記録し、環境管理責任者に報告する。
部門責任者	部門内において、 ①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。実施結果を記録し事務局に報告する。 ②EA21目標達成の取組を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下必要な是正処置・改善を行なう。 ③公害防止、緊急事態への予防処置を行なう。
社員	①部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21取組に関する教育訓練を受ける。 ③自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する。 ④改善提案を行なう。

4. 環境経営目標

(1) 2024年数値目標

項目	単位	区分け	ベンチマーク ※1	2024年目標	※2
①加工不良の削減	%/月	不良品	0.069	0.068	
②使用エネルギーの削減（電気）	kwh/10万円	電気	194.29	192.35	
③使用エネルギーの削減（軽油）	L/10万円	軽油	1.23	1.22	
④使用エネルギーの削減（ガソリン）	L/10万円	ガソリン	0.77	0.76	
⑤使用エネルギーの削減（灯油）	L/万円	灯油	43.18	42.75	
⑥二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/10万円	CO2	134.04	132.70	
⑦水使用量の削減	L/10万円	水	148.78	147.29	
⑧廃油処理量の削減	t/年	廃油	21.90	21.68	

※1 本社と岩手工場の合算で算出し、2023年のデータをベンチマークとする。
不良率は前年実績を使用する。

※2 購入電力の二酸化炭素排出係数は以下を使用する。（2024年公表値）
本社：東京電力の実排出係数0.457(kg-CO2/kWh)を使用
岩手工場：東北電力の実排出係数0.477(kg-CO2/kWh)を使用

(2) 中期数値目標（対2023年度データ）

				削減目標（毎年 -1.0%）		
項目	単位	区分け	ベンチマーク	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
①加工不良の削減	%/月	不良品	-	0.068	未定	未定
②使用エネルギーの削減（電気）	kwh/10万円	電気	194.29	192.35	190.40	188.46
③使用エネルギーの削減（軽油）	L/10万円	軽油	1.23	1.22	1.21	1.19
④使用エネルギーの削減（ガソリン）	L/10万円	ガソリン	0.77	0.76	0.75	0.75
⑤使用エネルギーの削減（灯油）	L/万円	灯油	43.18	42.75	42.32	41.88
⑥二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/10万円	CO2	134.04	132.70	131.36	130.02
⑦水使用量の削減	L/10万円	水	148.78	147.29	145.80	144.32
⑧廃油処理量の削減	t/年	廃油	21.90	21.68	21.46	21.24

※加工不良の削減については毎年目標を設定する。

(3) その他取組

⑨化学物質の適正管理

5. 環境経営計画と取組の結果

レビュー実施: 2025年 1月 20日

2024年度 環境経営計画															代表者	管理責任者	事務局
																	
環境経営計画			実施状況												総 評		
		取 組 内 容	関 係 部 門	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
1.加工不良の削減	加工不良	①不良荷札の記入（月初に集計）	製造部 品質保証部	1/8	2/1	3/1	4/1	5/7	6/3	7/1	8/1	9/2	10/1	11/1	12/2	昨年までは不良率が下がっていく傾向にあったが今年は数量のまとまった不良が数件あり不良率の値を押し上げた。	
		②月次の不良対策グループ活動	製造部 品質保証部	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
		③月次昼礼での注意喚起	品質保証部	1/15	2/12	3/12	4/8	5/13	6/10	7/8	8/19	9/9	10/14	11/11	12/9		
2.使用エネルギーの削減	電 気	④効率アップ活動	製造部 業務部	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	製造部の効率アップ活動・段取作業の見直しは数字に表れてきているように感じる。 稼働率が上がることで電気使用量を押し上げているか？	
		⑤稼働停止設備の電源OFF	製造部 業務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		⑥休憩時の設備/照明/OA機器の電源OFF	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		⑦OA機器の省電力設定	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	軽 油	⑧トラックのエコドライブ	業務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	トラック運行の計画的な運行が継続されている。 月により使用料のばらつきが大きい印象。	
		⑨納品の効率化	業務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		⑩フォークリフトのアイドリングストップ	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ガソリン	⑪エコドライブを心掛ける（急発進/急加速）	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	多くが本社での使用。 昨年に比べて大きく削減できた。	
		⑫停車時のアイドリングストップ	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	灯 油 ※冬期（11～3月）	灯 油	⑬暖房設備の設定温度16℃	全社	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	昨年の大幅削減から横ばい傾向にある。
			⑭ビニールカーテンでの間仕切り	全社	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
			⑮不使用エリアの電源OFF	全社	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
3.二酸化炭素排出量の削減	エネルギー全般	⑯使用エネルギーの削減	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全般的に横ばい傾向である。	
4.水使用量の削減	水道	⑰節水注意喚起の表示	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7月に上水道管からの漏水があり値を悪化させた。 漏水がなければ昨年と同様程度だったと思われる。	
		⑱蛇口の閉め忘れ注意	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		⑲切排水交換の適正化	製造部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		⑳洗浄水使用の適正化（毎月全量交換）	業務部	1/26	2/23	3/29	4/26	5/31	6/28	7/26	8/30	9/27	10/25	11/29	12/26		
5.廃油処理量の削減	廃油(切排水)	㉑切排水交換の適正化	製造部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大幅に削減できた。 切排水の管理が適切に行われている。	
6.化学物質管理	PRTR対象品	㉒PRTR対象品の購入量の把握	業務部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	引き続き適切な管理を継続する。	
		㉓SS/パトロールによる使用状況の確認	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

6. 環境経営目標の実績と評価

年間稼働日数：255 日

二酸化炭素総排出量：478,336 kg-CO2

レビュー実施：2025年 1月 20日

2024年度 環境経営目標																代表者		管理責任者		事務局									
																													
環 境 経 営 目 標																1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	中 間 評 価	年度末 評 価
		基準値 2023年	2024年	2025年	2026年	関 係 部 門	取 組 内 容	稼働日数	19日	22日	22日	23日	21日	21日	23日	17日	21日	24日	22日	20日	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5							
1.加工不良の削減	加工不良率 (%) ※不良数/納品数	基準年 2023年 0.069	前年比-1.0%	未定	未定	製造部 品質保証部	・不良荷札の記入 ・月次の不良対策グループ活動 ・月次経礼での注意喚起	予定	0.068												上期平均 0.166 41%	年間平均 0.148 46%							
			0.068	未定	未定			実績	0.074	0.083	0.517	0.155	0.071	0.093	0.107	0.144	0.260	0.080	0.082	0.114	□	□							
2.使用エネルギーの削減	① 電 気 (kwh/10万円)	194.29	-1%	-2%	-3%	全 社	・稼働監視システムの活用 ・稼働停止設備のOFF ・休憩時の設備/照明/OA機器のOFF ・OA機器の省電力設定	目標	192.35												上期平均 194.593 99%	年間平均 190.833 101%							
			192.35	190.40	188.46			実績	192.80	230.42	188.70	196.56	156.42	202.66	171.29	157.94	207.10	181.22	181.73	223.16	□	□							
	② 軽 油 (L/10万円)	1.23	-1%	-2%	-3%	全 社	・トラックのエコドライブ ・納品の効率化 ・フォークリフトのアイドリングストップ	予定	1.22												上期平均 1.332 91%	年間平均 1.259 97%							
			1.22	1.21	1.19			実績	2.05	0.85	1.86	0.56	0.62	2.05	1.22	0.81	2.07	0.82	1.68	0.52	□	□							
	③ ガソリン (L/10万円)	0.77	-1%	-2%	-3%	全 社	・エコドライブを心掛ける ・停車時のアイドリングストップ	予定	0.76												上期平均 0.623 122%	年間平均 0.598 127%							
			0.76	0.75	0.75			実績	0.73	0.79	0.62	0.36	0.44	0.80	0.60	0.51	0.77	0.42	0.52	0.62	□	□							
	④ 灯 油 (L/10万円) ※冬期（11～3月）	43.18	-1%	-2%	-3%	全 社	・暖房の設定温度16℃ ・ビニールカーテンでの開仕切り ・不使用エリアのOFF	予定	42.75												上期平均 45.987 93%	年間平均 41.610 103%							
			42.75	42.32	41.88			実績	55.36	48.23	34.37	(5.80)	(1.24)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(6.54)	(0.00)	24.24	45.85	□	□							
3.二酸化炭素排出量の削減	①②③④ (kg-CO2/10万円)	134.04	-1%	-2%	-3%	全 社	・使用エネルギーの削減	予定	132.7												上期平均 157.825 84%	年間平均 141.613 94%							
			132.70	131.36	130.02			実績	236.74	233.98	181.75	110.44	80.28	103.76	86.22	78.58	122.16	89.51	152.57	223.36	□	□							
4.水使用量の削減	水道 (L/10万円)	148.78	-1%	-2%	-3%	全 社	・節水注意喚起の表示 ・蛇口の閉め忘れ注意 ・切閉水交換の適正化 ・洗浄水使用の適正化	予定	147.29												上期平均 157.798 93%	年間平均 184.560 80%							
			147.29	145.80	144.32			実績	129.76	193.97	168.80	124.66	150.67	178.93	568.03	167.82	122.98	124.85	142.86	141.39	□	□							
5.廃油処理量の削減	廃油(切削水) (t/年)	21.9	-1%	-2%	-3%	製造部	・切閉水交換の適正化	予定	21.68												上期累計 0.00 -	年間累計 15.58 139%							
			21.68	21.46	21.24			実績	0.00						15.58						-	-							
6.化学物質管理	PRTR対象品	-	-	-	-	全 社	・PRTR対象物の購入量の把握 ・SSパトロールによる使用状況の確認	実績	※PRTR対象品購入履歴 参照												上期累計 -	年間累計 -							
達 成 度	5：110%以上 目標を大きく上回る成果が達成できた							代表者	管理責任者	事務局								代表者	管理責任者	事務局	株式会社 十辰製作所								
	4：100%～110%未満 目標とした成果が達成できた																				岩手工場								
	3：90%～100%未満 まあまあの成果が達成できた																												
	2：80%～90%未満 目標を下回り達成不十分																												
	1：80%未満 目標から逸脱しているため、改善策を講じる																												

7. 環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

最新確認：2024/1/16
適合確認：2024/1/16
株式会社十辰製作所

代表者	実施者
	

環境関連法規 取りまとめ表

最新情報の確認 <https://elaws.e-gov.go.jp/>

区分	法規等の名称	施行日	適用される条項	該当する要求事項	該当項目	チェック	備考
環境全般	環境基本法	令和3年9月1日	第8条	事業者の責務（ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。）	事業活動全般	○	
	地球温暖化対策の推進に関する法律	令和5年4月1日	第5条	事業者の責務（温室効果ガス排出の抑制に努める）	事業活動全般	○	
	岩手県環境の保全及び創進に関する基本条例	平成11年12月17日	第5条	リサイクルの促進、環境負荷の低減	事業活動全般	○	
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	令和4年6月17日	第12条2項	産業廃棄物保管の基準（保管場所表示60×60等） ※蛍光管は、「水銀含有製品産業廃棄物」の明示	廃棄物の表示	○	
			第12条5項	産業廃棄物処理は、許可業者に委託する。	廃棄物処理の委託	○	
			第12条7項	委託した産業廃棄物処理状況を確認するよう努める。（排出者責任）	廃棄物処理状況の確認	○	
			第12条の3	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	マニフェスト	○	
			第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付状況報告（6/30まで）	マニフェスト	○	年1回 報告書を提出
			第12条の3 第8項	産業廃棄物管理票返送遅延時の届け出（D票90日、E票180日）	マニフェスト	○	
			第12条の3 第10項	産業廃棄物管理票の保存（5年間）	マニフェスト	○	5年保管
	岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	令和元年12月14日	第5条	廃棄物の削減及び適正処理	廃棄物の取り扱い	○	
			第22条	産業処分委託先の適正処理能力確認	適正処理能力の確認	○（チェックシート）	2022年6月実施
			第22条の2	産業廃棄物管理責任者の設置及び監督	廃棄物の発生抑制・適切処理	○	
大気汚染	大気汚染防止法	令和4年6月17日	第2条 別表第1	伝熱面積10㎡以上は届出が必要 燃焼能力50ℓ/H以上は届出が必要	給湯器	- (1.24㎡) - (5.20ℓ/H)	規格未滿により規制対象外
フロン	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	令和4年6月17日	第16条	業務用冷凍機器：1回/3ヶ月の簡易点検	空気圧縮機のドライヤー（0.4kw） 事務用エアコン（1.24 / 1.27 kw）	○（日常点検）	
騒音	騒音規制法	令和4年6月17日	第5条	定格出力7.5kw以上は届出が必要	空気圧縮機	○（15kw×2）	※届出対象外地区
振動	振動規制法	令和4年6月17日	第5条	定格出力7.5kw以上は届出が必要	空気圧縮機	○（15kw×2）	※届出対象外地区
危険物	遠野市火災予防条例	令和5年12月11日	第46条	指定数量未滿の危険物等の貯蔵及び取扱いの届け出	灯油、軽油タンク	○	消防署に届け出済み
	消防法	令和4年6月17日	第10条	第4類第1石油類 非水溶性 指定数量200ℓ	溶剤	○	少量危険物保管庫にて190ℓ以内で保管
				第4類第2石油類 非水溶性 指定数量1,000ℓ	塗料	○	
				第4類第2石油類 非水溶性 指定数量1,000ℓ	灯油 軽油	○（450ℓホームタンク×8） ○（450ℓホームタンク×1）	少量危険物届出済み
				第4類第3石油類 非水溶性 指定数量2,000ℓ		○	
				第4類第4石油類 非水溶性 指定数量6,000ℓ	オイル類	○	
			第17条	設置の有無		○	
			第21条の4	消防設備の点検と報告	火災報知器/消火器/動力消防ポンプ	○	報告は3年に1回
	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRT法）	平成11年7月13日	施行令第4条	第一種指定化学物質の取扱いが年に1t以上の場合には届出必要 特別第一種指定化学物質の取扱いが年に0.5t以上の場合には届出必要	溶剤 塗料	-（既定値以下で購入管理） -（既定値以下で購入管理）	
	労働安全衛生法	令和4年6月17日	第88条	計画の届け出（危険若しくは有害な作業を必要とする機械の設置）	塗装ブース	○	労働基準監督署に届け出済み
	有機溶剤中毒予防規則	令和5年10月1日	第5条	局所排気装置の設置	塗装ブース	○	
			第19条	有機溶剤作業主任者の専任及び職務（作業指示と局所排気装置の点検）	塗装ブース	○（点検：1回/月）	
			第24条	有機溶剤使用に関わる掲示	塗装ブース	○	
			第25条	有機溶剤等の区分の表示	塗装ブース	○	

※チェックは1回実施する。適性：○、一部要改善：△、不適正：×、一部要改善及び不適正の場合は、是正処置を実施。

環境関連法規チェック表で確認をして、環境関連法規への違反はありませんでした。
また、過去3年間で関係機関からの指摘ならびに利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

8. 代表者による評価・見直し

1、環境管理責任者からの報告内容

評価項目	内 容
①環境関連法の遵守状況	関連法規の更新・見直しともに特に問題は見られなかった。
②環境経営目標の達成状況及び○環境活動経営計画の実施状況その評価結果	2022年末の事務所棟の改築によりストーブからエアコンに切替り灯油使用量は減少したが工場での灯油使用量の削減には至っていない。 工場内の空調設備導入等の検討を含め引き続き灯油使用量削減に努めていきたい。
③問題点の是正処置及び予防処置の結果	昨年の審査時に化学物質管理者の義務化について助言を頂き、2名講習を受講し選任した。引き続きリスク低減に努めていきたい。
④外部からの苦情等の受付結果	苦情はありませんでした。
⑤組織に影響する法規制動向	大きな法規制の変更は見られなかった。
⑥取引先からの「グリーン調達」情報	取引先からの禁止物質規制の問い合わせが増えている。弊社の生産品目として懸念される禁止物質等はないが、最新情報を確認していきたい。
⑦エコアクション環境改善提案	加工時間短縮、工程集約等の改善が多く出され生産効率改善に繋がってきている。 今後も改善活動を促していきたい。
⑧その他	特にありません。

2、代表者による見直し等の指示

見直し項目	評 価	指 示 事 項
①環境経営方針	分かり易く社員に浸透している。	現状を維持する。
②環境経営目標	昨年との比較ということで、取り組みの結果をより身近に実感出来たと感じている。加工不良が増加してしまったことは残念だが、2025年度に改善を進めて貰いたい。その他の目標については、工場操業度が高かったことを考慮すると、良好な結果であったと評価出来る。	2024年に廃油の削減が進んだ要因を詳しく調べて、今年度の削減にも繋げて欲しい。加工不良については動向を注視し、その他の目標については、現状を維持してもらいたい。
③環境活動経営計画	社内活動が機能しており、環境活動経営計画に落とし込まれていて評価出来る。	漏水の影響により、水使用量が目標未達となった。電気、エアー配管等の工場内インフラの点検も追加で検討してもらいたい。
④環境経営システム	問題なし。	加工不良の増加はあったが、総じて環境目標の達成が出来ており機能している。現状を維持する。
⑤実施体制	2024年より管理職の職制変更により、平野部長が事務局を担当に変更している。セミナー等も積極的に参加しており、良好に機能している。	現状を維持する。
⑥全体総括	2024年は年初から生産が復調して、売上高は微減であったが工場操業度は総じて好調な1年であった。過去最低のレベルを更新していた加工不良が大幅に悪化したことは非常に残念である。その他の項目については、操業度を考慮すると削減が確認出来た項目も多く評価出来る。	工場内インフラの再点検を行い、環境目標達成の阻害要因を取り除いて欲しい。また、顧客からの化学物質の調査は年々複雑になってきているので、しっかりと時間をかけて対応してもらいたい。
⑦その他	特に無し	特に無し

9. 次年度の数値目標及び取組内容

(1) 2025年数値目標

項目	単位	区分け	ベンチマーク ※1	2025年目標	※2
①加工不良の削減	%/月	不良品	0.148	0.147	
②使用エネルギーの削減（電気）	kwh/10万円	電気	194.29	190.40	
③使用エネルギーの削減（軽油）	L/10万円	軽油	1.23	1.21	
④使用エネルギーの削減（ガソリン）	L/10万円	ガソリン	0.77	0.75	
⑤使用エネルギーの削減（灯油）	L/万円	灯油	43.18	42.32	
⑥二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/10万円	CO2	134.04	131.36	
⑦水使用量の削減	L/10万円	水	148.78	145.80	
⑧廃油処理量の削減	t/年	廃油	21.90	21.46	

※1 本社と岩手工場の合算で算出し、2023年のデータをベンチマークとする。

不良率は前年実績を使用する。

※2 購入電力の二酸化炭素排出係数は以下を使用する。（2024年公表値）

本社：東京電力の実排出係数0.457(kg-CO2/kWh)を使用

岩手工場：東北電力の実排出係数0.477(kg-CO2/kWh)を使用

(2) 2025年取組内容

項目	取組内容
①加工不良の削減	不良荷札の記入 不良対策グループ活動 月次昼礼での注意喚起
②使用エネルギーの削減（電気）	効率アップ活動 稼働停止設備の電源OFF 休憩時の設備/照明/OA機器の電源OFF OA機器の省電力設定
③使用エネルギーの削減（軽油）	トラックのエコドライブ 納品の効率化 フォークリフトのアイドリングストップ
④使用エネルギーの削減（ガソリン）	エコドライブを心掛ける 停車時のアイドリングストップ
⑤使用エネルギーの削減（灯油）	暖房設備の設定温度16℃ ビニールカーテンでの間仕切り 不使用エリアの暖房OFF
⑥二酸化炭素排出量の削減	使用エネルギーの削減
⑦水使用量の削減	節水注意喚起の表示 蛇口の閉め忘れ注意 切削水交換の適正化 洗浄水使用の適正化
⑧廃油処理量の削減	切削水交換の適正化
⑨化学物質管理	PRTR対象品の購入量の把握 5Sパトロールによる使用状況の確認

10. 地域環境活動

地域環境活動は社内日程の調整がつかず、未実施となりました。
来期は状況をみながら実施を検討する。